

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870201195
法人名	社会福祉法人 今治市社会福祉協議会
事業所名	今治市社協 グループホームゆいの里
所在地	今治市大三島町野々江 2 4 3 5 - 1 4
自己評価作成日	平成21年7月8日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年7月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりの、自由な意思を尊重し、持っている力を維持しながら発揮でき、笑顔の中で日々を過ごせる様支援させていただいている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

古民家を移築して建てられた事業所は、利用者の年代に懐かしい造りとなっており、玄関アプローチや中庭・居間には、数々の小さな鉢や草花が手入れされ、ご家族が植えられた木もある。
地域行事への参加やボランティアの受け入れ等を積極的に行い、地域との交流の機会を持たれている。高校生や地域住民に「認知症の正しい理解」をしていただけるよう、勉強会等を継続して行っておられる。調査訪問時には、地元の中学生在が交流授業に来られており、生徒達が考えて来たゲーム等を通じて、笑顔や笑い声のあるひと時を過ごしておられた。
事業所で食事作りをされており、職員は、利用者一人ひとりの好み等にも合わせて食べやすく工夫されている。旬の野菜や近くの海で獲れた魚・天草やイギス等の海藻を使い、郷土料理等も作られている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない 	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<ol style="list-style-type: none"> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない 	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 社会福祉法人 今治市社会福祉協議会

(ユニット名) グループホームゆいの里

記入者(管理者)

氏名 菅 千枝

評価完了日 平成 21年 7 月 8 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「家のぬくもり、ひとのぬくもり、地域のぬくもりにふれ合いながら、その人らしく暮らしていただけるよう、お手伝いさせていただきます」という理念のもと、日々サービスの向上に努めています。	
			(外部評価) 古民家を移築した事業所で「建物から味わう木のぬくもりに負けないよう、利用者・地域の方々との人のぬくもりを大切に」日々の暮らしを支援されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 保育園行事、お寺の花祭り、中学校の伝承文化発表、敬老会、地域の祭り等年間を通じて地域の行事に参加しています。また夏祭り等催物を数多く計画し、地域の皆様との交流を図っています。地域の方からの新鮮な野菜の差し入れも再々あります。	
			(外部評価) 地域行事への参加やボランティアの受け入れ等を積極的に行い、地域との交流の機会を持たれている。高校生や地域住民に「認知症の正しい理解」をしていただけるよう、勉強会等を継続して行っておられる。調査訪問時には、地元の中学生在が交流授業に来られており、生徒達が考えて来たゲーム等を通じて、笑顔や笑い声のあるひと時を過ごしておられた。事業所の建物を「懐かしい」と言って訪ねて来てくれる方もいる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 認知症の理解や正しい薬の飲み方等の研修会を実施し多くの地域の皆様の参加を得ている。また人材育成として実習生の受け入れや中、高校生対象の職場体験の受け入れも積極的におこなっています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に一度の会議において現状の課題や評価結果な ど話し合い、意見をいただきながらサービスの向上へと 活かしている。色々な協力の申し出をいただしていま す。	
			(外部評価) 会議では、外出等の行事報告や利用者の状況を報告さ れている。又、防災対策や外部評価結果についての話 し合いもされている。利用者の状態等、事業所の困っ ていることを「里の課題」として伝え、ご意見をうか がうこともある。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 保健師へ相談する事により迅速に認知症専門医との連 携が取れている。里だよりのお届けや行事予定、入退 去状況等の報告をし、助言をいただきながらサービ スの向上へとつなげています。	
			(外部評価) 入居の申込み時には、支所の保健師の方からご自宅 での生活の様子等を教えてもらったり、認知症専門医 の往診時には保健師の方がかかわってくださっている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 外部研修報告や身体拘束ゼロへの手引き等により全て の職員も正しく認識している。利用者の状態も把握 できており、安全面に配慮し自由な暮らしを支えるよ うにしている。	
			(外部評価) 「利用者の安全を最優先」に考えながら、利用者一人 ひとりに対する声かけがその時々状況に適切かどう か、職員で話し合う機会を持っておられる。職員は、 身体拘束に関する外部研修等にも出席して勉強されて いる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員、管理者は高齢者虐待防止法に関する研修に参加し、ミーティング等で話し合い防止に努めています。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 外部研修に参加し制度について学び研修している。必要時、本部とも連携し活用でき体制が整っています。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時十分な理解をしていただける様、説明又改定時には口頭での説明や書面にて説明し理解、納得していただいています。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族様が来られ時、気軽に意見が出せるような関係作りに、努めている。又運営推進会議等においても、意見等伺える機会もあり、運営に反映させています。 (外部評価) 昨年のクリスマス会の後に、第一回目の家族会を開催された。会の中では「事業所の年間計画を早めに教えてほしい」「体調変化時には早目に教えてほしい」等の意見が出され、事業所運営に反映できるよう取り組まれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 支部長、管理者、職員が毎月定例会議を行い、その内容を全体ミーティングで共有している。又意見や提案を聞く機会を設け、運営にも反映させている。	
			(外部評価) 毎月行われるミーティング時等に、職員の意見や提案等を出し合い、話し合っておられる。職員の提案により、利用者の状況に合わせて、居室にある手すりの位置を利用者が使いやすいよう替えられた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 支部長も利用者や職員との業務や悩みを把握している。資格取得に向けた支援も行い情報提供、各自が向上心を持って働けるよう外部研修、内部研修に全職員が計画的に参加できるよう努めています。	
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 県グループホーム連絡協議会に所属し情報を得て全員に知らせ、全職員が研修できるよう計画的に外部研修に参加しミーティング時には、研修報告を行い、職員が共有できる様にしています。	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 県グループホーム協議会による総会、研修、相互研修等活動を通じ、内部研修に生かしサービスの向上させていく取組をしています。	
			(外部評価)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前の面談で、今までの生活やADLの把握に努め、本人の思いや不安な事など、話し合う時間を多く持ちより良い関係づくりに努めている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>今までの生活状態やサービスの利用状況などを教えていただき、家族様の意向や、どこまでサービスできるか等、事前に話し合いの場を持っています。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人、家族様と十分に話し合い、確認し必要なサービスの情報を迅速に提供できるように努めています。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>常に見守りながら、得意分野では一人ひとりの力が発揮できるように工夫している。また、言葉かけに配慮しながら共に喜び感謝の気持ちを伝えている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人や家族様の希望、大切にしていることを教えていただき、介護に反映するように努めている。また、必要な連絡行事等にお誘いすることにより、家族様の協力をえられており、共に支えあう関係が築けています。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>敬老会行事、地域のお祭り、お大師祭り、寺行事などへ積極的に出かけ、友人、知人との交流の機会を多く持てるようにしている。本人の行きつけの理・美容院への支援も行っています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>地域行事等に積極的に参加して、利用者が地域の知り合いや顔なじみの方に出会う機会を多く持てるよう取り組まれている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士で談話したり筋力低下予防のために、ホーム内を歩行したり、みんなのできる作業をしながら関わりを持ってるようにしている。 心身の状態や気分などで、日々変化することもあり、常に見守りし不安や支障をきたさないように対応しています。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退去後も家族様から電話連絡もあり、良い関係が続いている。又必要な情報も提供できるよう心掛けています。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 常に見守りし、日々のかかわりの中で、様子や会話から思いや意向の把握に努め生活の中で活かしている。 (外部評価) 日々の利用者とのかかわりの中で得た情報を集めて、アセスメントシートにまとめておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時、基本情報シートに記入していただき、全体を把握している。また本人様や家族様から色々と教えていただいています。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 常に見守りしながら、一人ひとりの生活のリズムや心身の状況を把握し、その人の得意分野で力が発揮できるよう心掛けています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			アセスメントを基に利用者の担当者が中心となりミーティング時、職員全員で意見交換やモニタリングカンファレンスを行っている。本人の意志を尊重し、家族様の思いや意見が反映されるよう作成しています。	
			(外部評価)	
			介護計画はご本人やご家族と話し合い作成し、毎月、評価やモニタリングを行い、利用者の現状に即した支援ができるよう取り組まれている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			個別介護記録や一日チェック表、連絡帳において必要な情報を共有し評価見直しを行い、実践や介護計画に活かしている。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			本人や家族様の状態に応じて通院や理美容院への送迎等必要に応じて柔軟に対応し支援しています。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			お寺参り、お大師参り、地方祭、敬老会行事等体調に合わせて外出する機会を持ち地域の方々の協力をいただきながら支援しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			本人や家族様が希望するかかりつけ医となっている。 また、連携している医療機関を確保し適切な医療が受 けられるように支援しています。	
			(外部評価)	
			利用者が受診される際にはご家族が同行されてい るが、ご家族のご都合に合わせて職員が同行されるこ ともある。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			かかりつけ医の看護師との連携や、隣接しているデイ サービスセンターや保健センターの看護師といつでも 相談できる関係にあり、意見を伺いながら支援してい る。	
			(外部評価)	
			安心して治療できるよう、できる限り利用者やご家族 の意向に沿って、情報交換しながら、対応可能な段階 で早期退院できるよう支援しています。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			安心して治療できるよう、できる限り利用者やご家族 の意向に沿って、情報交換しながら、対応可能な段階 で早期退院できるよう支援しています。	
			(外部評価)	
			入居時に本人及び、ご家族様の希望を聞き、事業所と してできる事を十分に説明し共有しています。 在宅で可能な限り、ご家族様の協力を得、医師関係者 との連携をはかりながら支援しています。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所ですることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			入居時に本人及び、ご家族様の希望を聞き、事業所と してできる事を十分に説明し共有しています。 在宅で可能な限り、ご家族様の協力を得、医師関係者 との連携をはかりながら支援しています。	
			(外部評価)	
			事業所では入居時に、最期の迎え方について希望を聞 いておられる。利用者が自力で食事を摂れなくなり、 点滴等医療行為が必要になった場合等は、ご家族・医 師等と話し合い、医師が入院をすすめることもある。	最期の迎え方については、今後も希望や要望等をお聞 きしながら、事業所ですることについて話し合いを 重ねていかれてほしい。ご家族に説明する際の書類の 工夫等、ご家族等の心情も踏まえながら取り組みをす すめていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 救急法やAEDの使い方の講習を受け知識は得ており、初期対応への備えができています。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 緊急連絡網、マニュアルを作成、避難訓練を実施している。元消防関係者や地域住民と話し合う機会もあり、協力体制を築いています。 (外部評価) 災害時、近隣住民の協力を得られるよう連絡網を整備し、有線放送の利用や消防団の協力が得られるようになっている。事業所では災害時、事業所建物内の多機能棟のスペースを地域の方に使用していただけることを伝えておられる。又、毎月20日には、コンセントにほころがないか確認される等、点検も細かにされている。	今後、運営推進会議等を通じて、地域の方達とともに防災避難訓練を行ったり、事業所では、マニュアルの整備をすすめておられ、それらをもとにして地域の協力を得ながら、取り組んでいきたいと考えておられた。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 年齢は尊敬にあたいする、という観念を元に一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることなく日々、豊かに過ごしていただけるように支援しています。 (外部評価) 職員は、常に利用者の目線に合わせ、時には肩に手を当てながら島言葉で語りかけておられた。調査訪問時、中学生との交流の時間を持たれていたが、利用者の様子を見ながら個々に参加されるかどうか聞いておられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 一人ひとりが思いや、希望を表すことができるような言葉かけをし、自己決定できるように支援しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりのペースをたいせつにし、できるだけ本人の思いを尊重し、其れに合わせた対応に心がけています。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 朝の着替えは、本人の意向で決めており、職員は見守りや支援が必要な時に手伝っています。又、本人の行きつけの理・美容院へご家族様や職員と一緒にしています。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の好みを献立に取り入れ、準備から片付けまでできる事は一緒に行い、楽しみながら食事ができるよう心掛けています。	
			(外部評価) 事業所で食事作りをされており、職員は、利用者一人ひとりの好み等にも合わせて食べやすく工夫されている。旬の野菜や近くの海で獲れた魚・天草やイギス等の海草を使い、郷土料理等も作られている。調査訪問時、下膳されたり食器洗いをされている方の様子がうかがえた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一日チェック表により、食事・水分量を把握し、確保できるよう支援している。又、ご本人の好きな物や食べやすいものを出すようにしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 自分で出来る方には、声かけ見守りをし支援の必要な方には、声かけ誘導し一人ひとりの力に応じた歯磨きの手伝いをしています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄パターンを把握し、プライバシーを大切にしながら、必要な方にはさりげなく、早めの声かけ誘導し、気持ちよい排泄へと支援しています。	
			(外部評価)	
			ご自分でトイレに行かれる方が多く、中には下着をご自分で洗濯される方もおられる。職員は、個々の排泄パターンを把握して、早めに声かけ誘導されている。	管理者は、利用者の中にはまだまだ支援に工夫ができる方もあると感じておられ、今後もさらに、利用者一人ひとりの排泄のパターン等を観察して、自立に向けた支援を重ねていきたいと考えておられた。
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			排泄パターンを記録している。水分補給と繊維質の多い食材を提供して予防に取り組んでいます。また棟内歩行などその人にあった運動を心掛けています。	
			(外部評価)	
			利用者様の希望に合わせ、体調をチェックしながら個々に応じた入浴の支援をしている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			毎日、入浴される方もいる。気の合う方と一緒に入浴されたり、長湯を楽しむ方もある。事業所では入浴の順番にも気を付けておられる。	
			(外部評価)	
			利用者の希望に合わせ、体調をチェックしながら個々に応じた入浴の支援をしている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			日中はフロアで自由な時間を持ちながら活動を促し、生活リズムを整えるよう努めている。夜間の状態も記録やミーティング時において確認でき、その日の体調に合わせて支援しています。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の効能票で確認し、利用者さんの病状を把握し服用を支援している。 勉強会において薬に対する理解ができています。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 調理や洗濯物を干したり、たたんだり、出来る事を一緒にしています。歌の好きな方がおいで、大きな声をだし唄いながら一緒に楽しんでいます。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 一人ひとりの希望や体調に合わせ買い物や理美容等、戸外へ出かけられる様支援しています。家族様の協力による通院やボランティアの協力をいただきながら個々が外出し楽しんでいます。	
			(外部評価) ご家族と一緒に理美容院へ出かけた時、亡夫の月命日には娘さんと一緒にご自宅で過ごす方もおられる。お大師参りやお花見等の時には、ボランティアの協力を得て、出かけておられる。事業所ではいつでも戸外に出られるよう、居間に麦わら帽子を用意しておられた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 職員は、利用者さんがお金を持つことの大切さを理解している。管理の困難な方はご家族さんの了承を得て、小額の金銭管理をしています。又買物をする時は自分で支払えるよう支援しています。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族や友人からの電話しやすい雰囲気づくりや利用者さんの希望に応じて、電話をしご家族さんの声が聞こえる様に支援しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>行事やご家族と共に写した写真や昔ながらのミシン、火鉢を置いたり季節の花を飾り馴染みのある童謡等の音楽を流しながら、居心地よく過ごせるよう心がけています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>古民家を移築して建てられた事業所は、利用者の年代に懐かしい造りとなっており、玄関アプローチや中庭・居間には、数々の小さな鉢や草花が手入れされ、ご家族が植えられた木もある。居間のテーブルは、高さが調節できるものもあり、利用者の身の丈に合わせ使用されている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>皆が誘い合わせて話ができるオープンスペースの和室が中央にある。外の景色が観れるよう、長椅子やソファを置き自由に過ごせる様支援しています。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>家族様の協力をいただきながら、ベットや畳をはじめ、テレビ、整理ダンス等使い慣れた物を持ち込み本人が居心地よく過ごせるよう工夫しています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室には、ご本人が大切に使用されてきた鏡台やタンス・ご家族の写真等も持ち込まれている。調査訪問時、利用者が「このテレビも布団も遠くにいる息子が買ってくれたんよ」と笑顔で話してくださった方もいた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>身体状況に合わせ手すりを増設したり、老人車、杖等移動が充分できるスペースがあり、身体機能に合った自立した生活が送れるよう支援をしています。</p>	